

第3回 小浜市北陸新幹線新駅周辺エリア 基本計画策定委員会

令和 8 年 6 月 26 日（金）

18：00～20：00

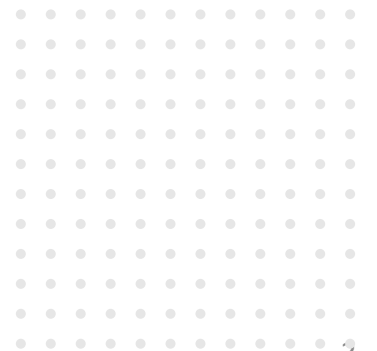


ミラプロ（若手未来プロジェクト）
公式キャラクター「ほくりん」

資料目次

- P.3 全体について
- P.7 第2回市民ワークショップ・若者アンケート調査の結果について
- P.15 『小浜市新まちづくり構想』のアップデートについて
- P.20 『小浜市新幹線駅周辺エリア基本計画』の検討について
- P.25 今後のスケジュール

全体について



0. はじめに

◆第2回策定委員会のふりかえり（委員からのご意見の抜粋）

<計画策定に向けて重視すべき視点のご意見>

- 小浜ならではの持続可能性や、将来まで残すべきことを考えて、コンセプトを考えるべき（市民が残したいもの、大事にしているものを守る）
- 小浜市ではなく、若狭、福井県などのスケールで考える（地域分断の解消）

<導入が必要と挙げられた機能、施設>

機能	主な意見
交通・結節機能	● 鉄道結節、二次交通の強化など在来線との接続・交通ネットワーク形成
情報発信・観光拠点	● 御食つ国の核、若狭地域の玄関口としての特性を生かした整備 ● 若狭全体の魅力発信の拠点化
産業・物流機能	● 新幹線を活用した貨物輸送機能（地域の農産物・特産品輸送） ● 研究・産業拠点機能、大学連携の研究施設 ● 地元企業の参画・活動拠点となる交流拠点（ワークスペース等）
福祉・居住機能	● 介護施設・高齢者マンションなど高齢者向け居住施設（親が小浜市に住み子が新幹線で通う）
防災・安全機能	● 新幹線駅舎を避難先として活用する駅舎の防災拠点化

0. はじめに

本策定委員会では、今後、以下の2つの計画の検討について、ご意見を頂くことを目的としています。

◆『小浜市新まちづくり構想』

※令和2年6月に市が策定済み

※6月頃までにアップデート案を作成予定

新幹線開業を見据えた市のまちづくりの基本的な方向性を示すもの（市全体を対象）

北陸新幹線開業のインパクトを活かして、

- 市として大事にしたいこと、キャッチフレーズを設定
- まちづくりの基本的方向と、ターゲット別にどんなまちを提供するか？をイメージで整理

◆『小浜市新幹線駅周辺エリア基本計画』

※11月頃までに計画案を作成予定

新駅周辺の整備コンセプトや、具体的にどのような機能・施設、土地利用が望ましいかを示すもの（新幹線駅周辺エリアを対象）

新駅周辺において、

- 『小浜市新まちづくり構想』を実現するために、必要な機能の抽出
- 新幹線駅周辺の土地利用や交通網の考え方を整理

0. はじめに

以下のようなアウトプットを計画に記載することを見据えて、本策定委員会では、各種の検討調査結果や事務局案を提示し、委員の皆様にご意見を伺います。

参考)『小浜市新幹線駅周辺エリア基本計画』のアウトプットイメージ

計画で最終的に掲載する土地利用ゾーニング図のイメージ

計画の目次構成（現時点のイメージ）

1. 計画の概要・目的

2. 対象地の現状・市民意向

3. 新駅周辺エリアのコンセプト
および基本方針

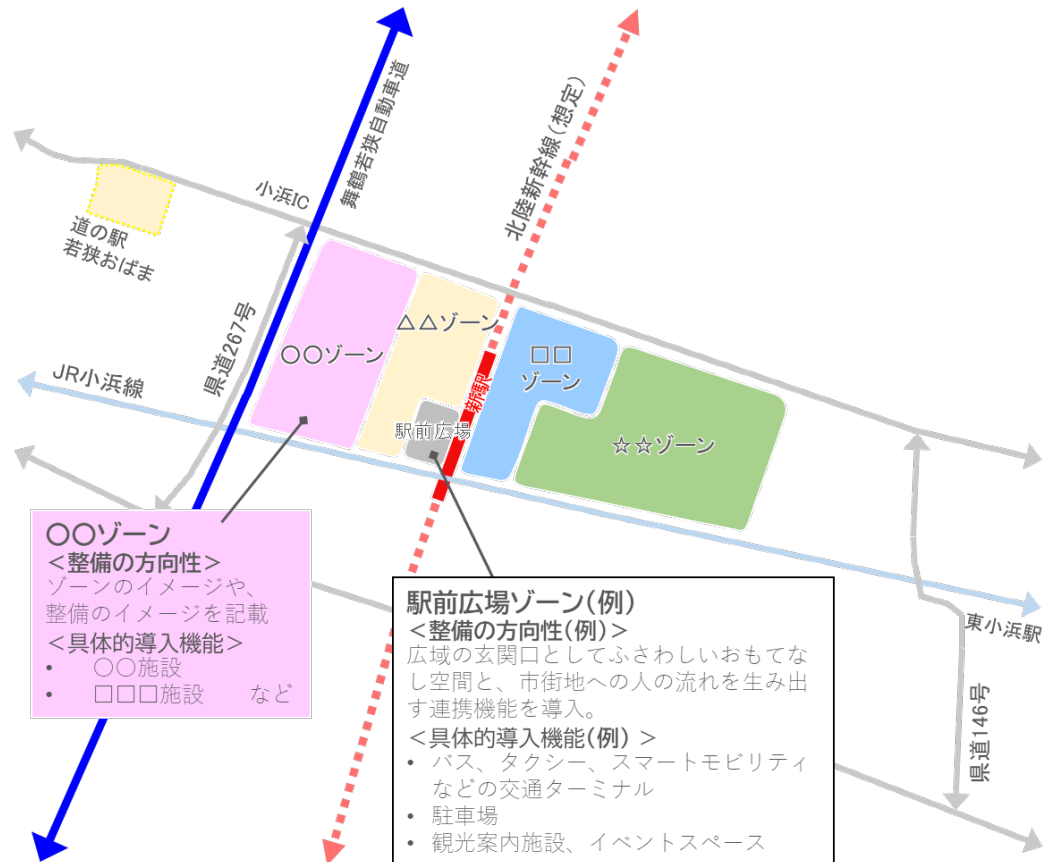
4. 整備計画

(1)土地利用ゾーニング

(2)導入機能・施設イメージ

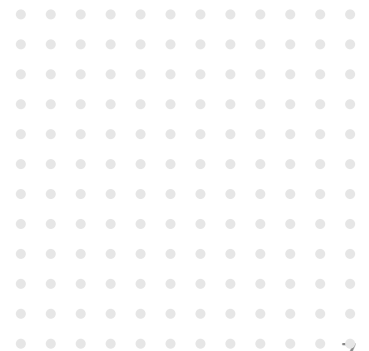
(3)アクセス交通・地区内動線計画

(4)整備スケジュール(短中長期)



※上記は、検討イメージの一例であり、内容や区域等が確定しているものではありません。

第2回市民ワークショップ・ 若者アンケート調査の結果について



1. 第2回市民ワークショップの結果概要

◆第2回市民ワークショップの概要

- 第2回ワークショップでは、23名が参加し、4班にわかれて意見交換を実施しました。

日時

令和8年5月28日（金）

テーマ

新幹線駅の周辺に必要なコト・モノを考えよう！

- 新駅周辺で必要な機能・サービス（新駅周辺にあるべきか、その他市内にあるべきか）
- その機能を市民や来訪者の皆さんがどのように使うか



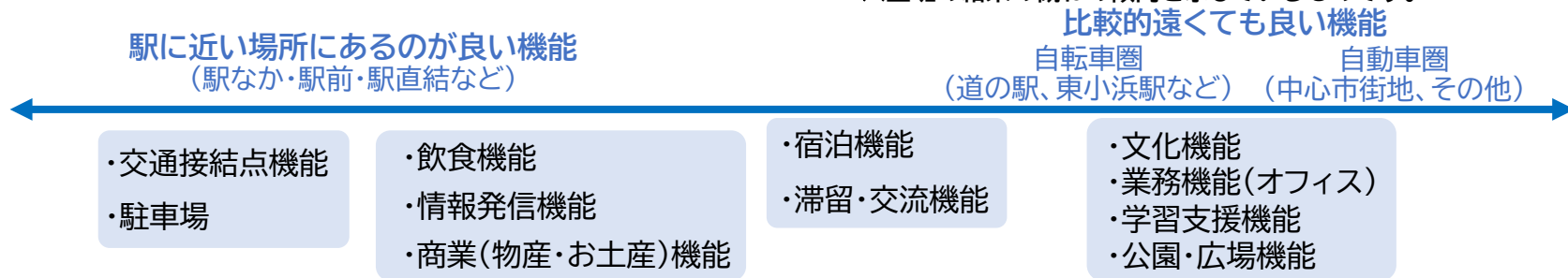
1. 第2回市民ワークショップの結果概要

◆ワークの結果概要

- 新駅の直近には、**来訪者を惹きつけ、気軽に小浜の魅力を味わえる**施設と交通結節拠点を。**駅自体もシンボル**的にショーウィンドウ化。
- 市民は、新駅周辺にイベントや行事の開催など**市民活動のために訪れ**、来訪者に対しても**市の暮らし・文化を魅せる、交流の場**を創出。
- 本格的な小浜の魅力を味わうのは、既存の中心市街地まで呼び込む。

<ワーク1:必要な機能と新幹線駅との距離>

※全班の結果の概ねの傾向を示しているものです。



<ワーク2:新幹線駅近くに必要な機能の深掘りイメージ>

新駅自体もシンボル(ショーウィンドウ化)となり、来訪者・市民の両方にとって魅力的な滞留・回遊の拠点に！！



市民

★市民の居住地への二次交通、来訪者の観光地への二次交通など、**交通結節点機能**

★イベント(祭)ができる屋根付きの全天候型広場や文化施設などの**滞留機能・交流機能・文化機能**



来訪者

★外国人向けコンシェルジュ、小浜の観光案内する**情報発信機能**

★小浜らしい食を提供する**飲食機能**

★シェアオフィス、チャレンジショップ、地元産業の本社などの働く場を提供する**業務機能**



若者

★駅近くはビジネスホテルなどの**宿泊機能**(魅力ある宿は市街地内に)

★**学習支援機能**と合わせたカフェなどの**飲食や公園・広場機能**

2. 若者アンケート調査の結果概要

◆若者アンケート調査の目的

- 令和8年4月に市内に通学する小学生、中学生、高校生、大学・専門学生を対象に、将来のまちで住み・働く子ども達が新幹線整備によってどんなまちになって欲しいかなどのニーズを把握することを目的に実施しました。

◆若者アンケート調査チラシ配布数と回収状況

- 回答は合計で581票が得られました。

【小学校】 小学校 9校243名
【中学校】 中学校 2校258名
【高 校】 若狭高校 20名ほど
 (イベントを通じ、個人へ依頼)
【高 校】 若狭東高校 143名
【高 校】 青池学園 150名
 (一部大学生区分も在籍)
【大学・専門学校】 若狭高等看護学校 71名
【大学・専門学校】 福井県立大学 300名

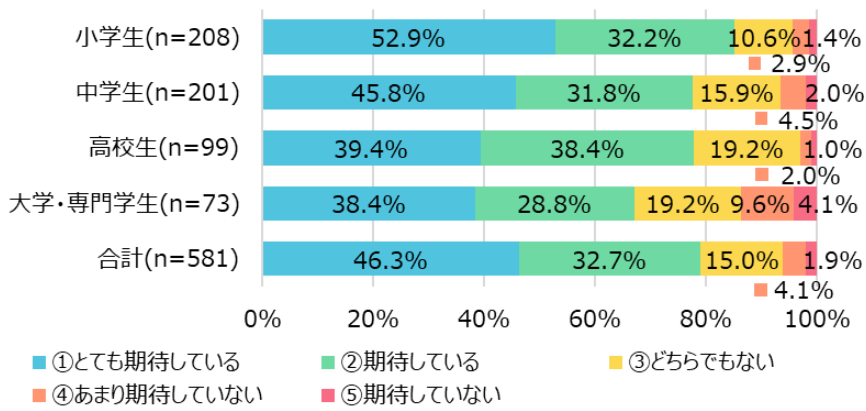
配布回収の状況

	配布数	回収数	回収率
小学生	243	208	85.6%
中学生	258	201	77.9%
高校生	313	99	31.6%
大学・専門学生	371	73	19.7%
合計	1,185	581	49.0%

2. 若者アンケート調査の結果概要

◆新幹線駅ができることへの期待など

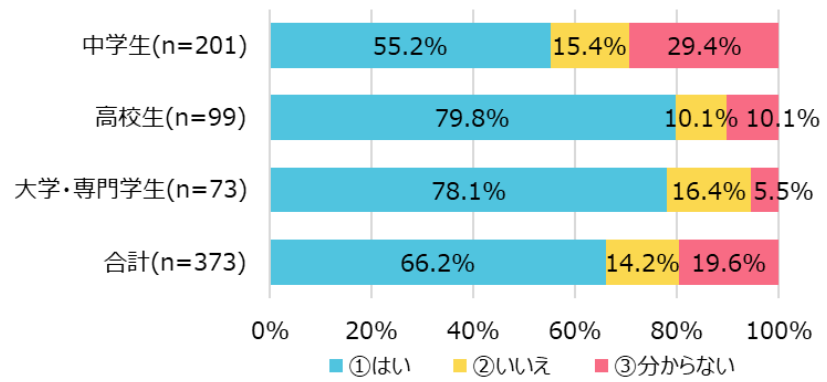
- 約 8 割が新幹線駅整備に期待しており、特に小学生で高い
- 中学生以上の小浜市在住の方で期待度が高い



新幹線駅ができることへの期待

◆小浜（若狭地域）を離れる可能性（中学生以上）

- 進学や就職で小浜（若狭地域）を離れる可能性は、**高校生、大学・専門学生の約 8 割が小浜（若狭地域）を離れる可能性がある**と回答



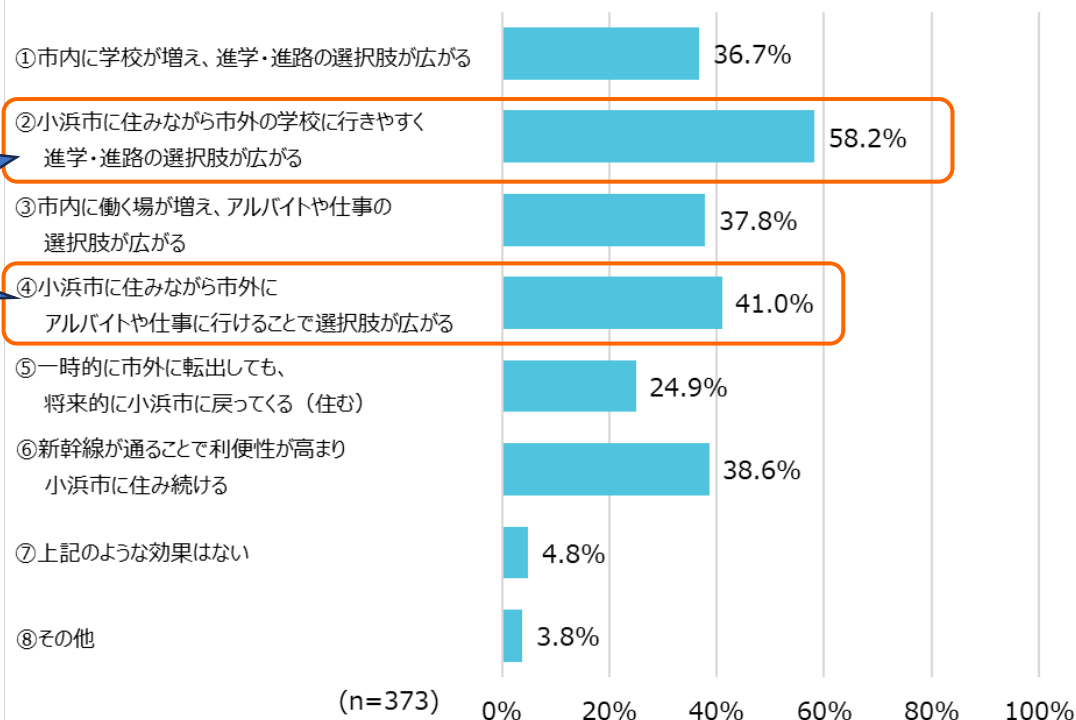
小浜(若狭地域)を離れる可能性

2. 若者アンケート調査の結果概要

◆新幹線駅ができることで効果が高いと思うこと

- 「**小浜市に住みながら**市外の学校に行きやすく**進学・進路の選択肢が広がる**」がいずれも高い
- 大学・専門学生では「新幹線が通ることで利便性が高まり**小浜市に住み続ける**」も高く、特に小浜市在住の方で高い

小浜（若狭地域）を離れる可能性は8割と高いが、新幹線駅ができることで小浜市に住みながらという選択肢も広がる

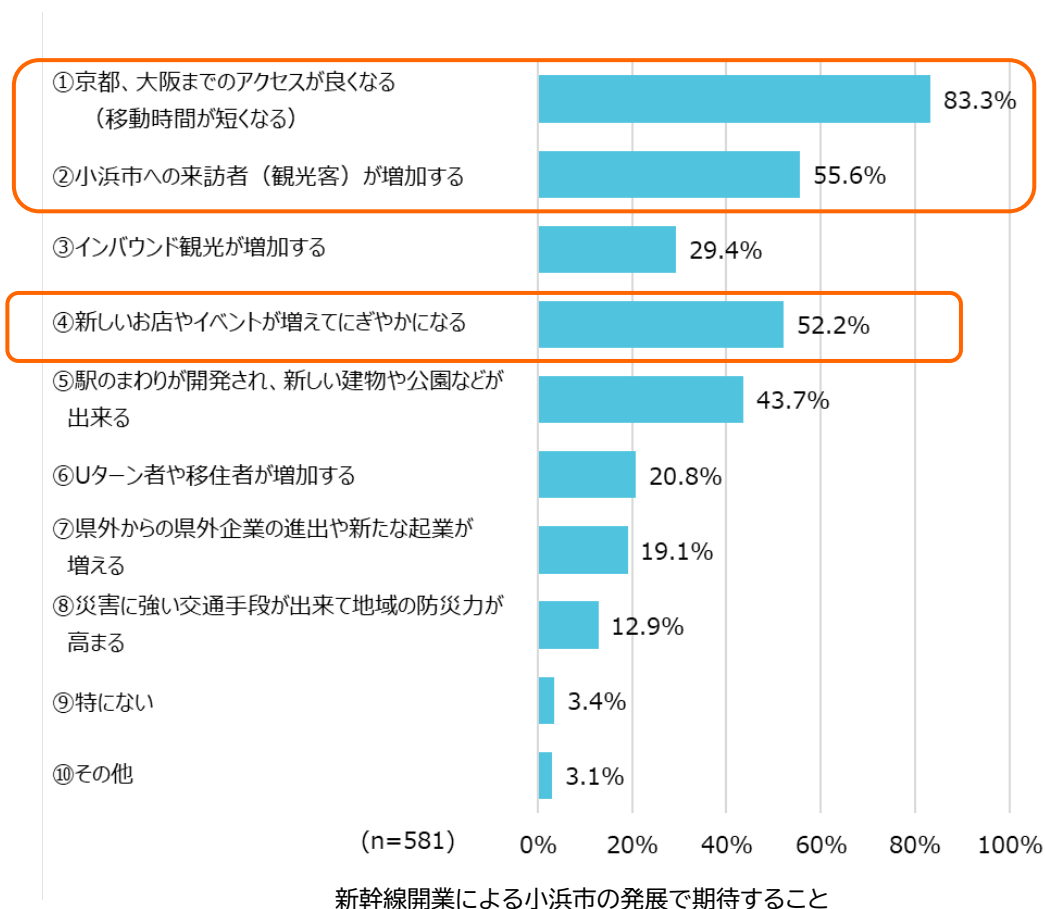


新幹線駅ができることで効果が高いと思うこと

2. 若者アンケート調査の結果概要

◆新幹線開業による小浜市の発展で期待すること

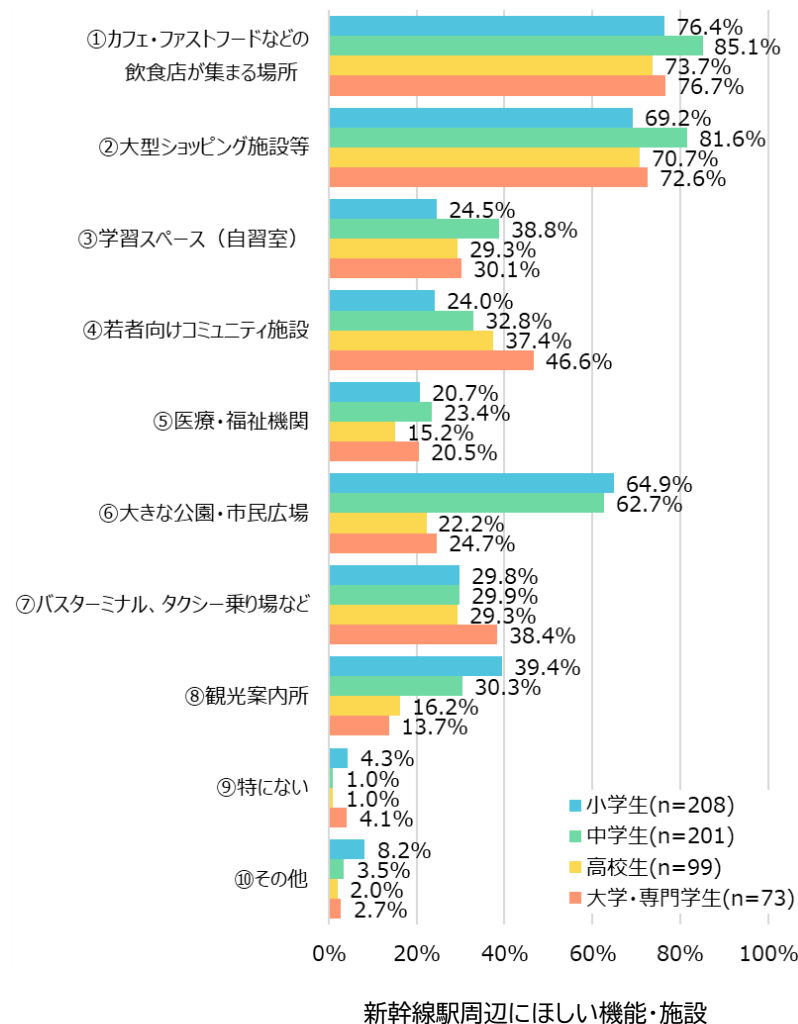
- 京都、大阪までの**アクセスの向上**、小浜市への**来訪者の増加**、新しいお店やイベントが増えて**にぎやか**になることを期待している



2. 若者アンケート調査の結果概要

◆新幹線駅周辺にほしい機能・施設

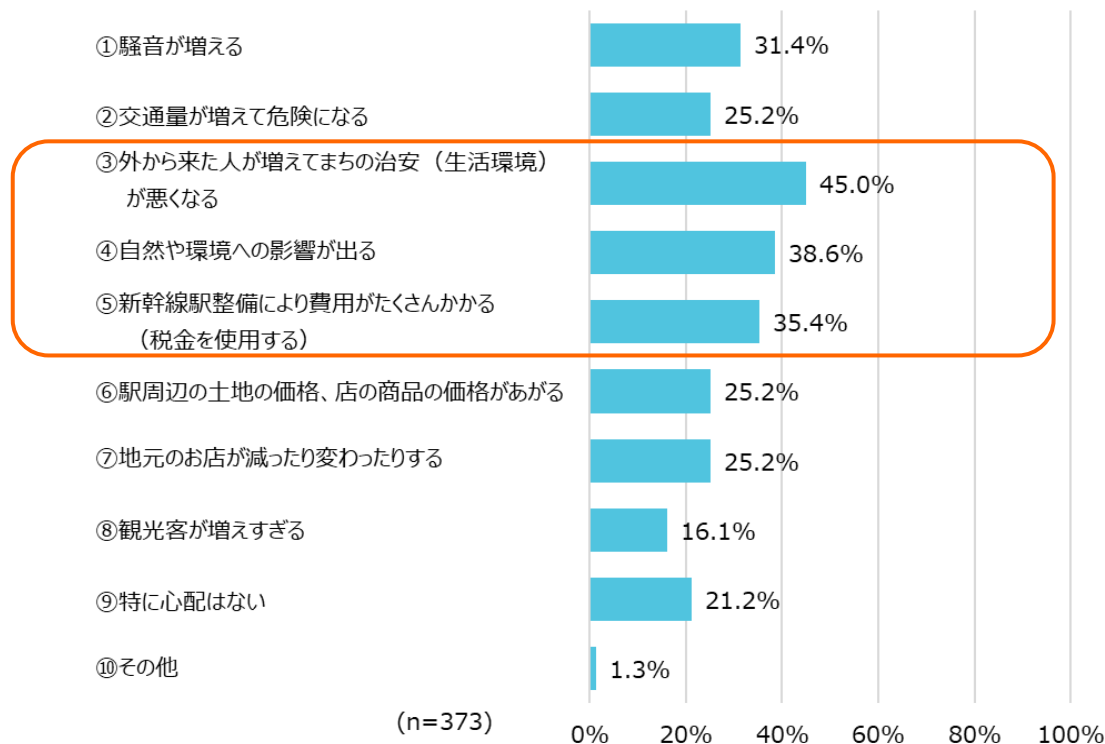
- 新幹線駅周辺にほしい機能・施設は、「①カフェ・ファストフードなどの**飲食店が集まる場所**」がいずれも最も高く、次いで「②**大型ショッピング施設等**」が高い
- **小学生、中学生**では、上記に次いで「⑥**大きな公園・市民広場**」が高くなっている一方、**高校生、大学・専門学生**では「④**若者向けコミュニティ施設**」が高くなっており、いずれも**年齢層に応じた活動の場や、居場所を求めている**



2. 若者アンケート調査の結果概要

◆新幹線ができることで心配なことや気になること

- 新幹線ができることで、心配なことは「③外から来た人が増えて**まちの治安**（生活環境）が悪くなる」「④**自然や環境への影響**が出る」「⑤新幹線駅整備により**費用がたくさんかかる**（税金を使用する）」



2. 若者アンケート調査の結果概要

◆小浜市(若狭地域)に将来残したいもの、おすすめのもの

- 小浜市（若狭地域）に将来残したいもの、おすすめのもの、全体では「自然」「神社・仏閣」「食文化・食べ物」が上位

小浜市(若狭地域)に将来残したいもの、おすすめのもの

キーワード	小学生	中学生以上	合計
自然	98	118	216
神社・仏閣	79	48	127
町並み（歴史ある町並み）	23	53	76
食文化・食べ物	34	77	111
文化・歴史	19	23	42
伝統行事	25	6	31
特産品・伝統工芸品	17	8	25
その他	25	32	57
合計	320	365	685

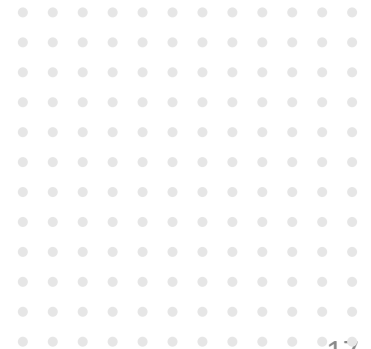
参考)市民ワークショップと若者アンケート結果

市民ワークショップと若者アンケートの結果

- 今後、社会や技術が大きく変化していく中でも、小浜市（若狭地域）に**将来にわたって残したいものは市民も若者も同様に「自然」「歴史」「食」**
- 特に「**海**」「**神社・仏閣**」「**海の幸**」という資源は共通

	市民ワークショップ参加者	若者アンケート結果
自然	美しい海岸線、上中井のしだれ桜	コウノトリ、美しい海・山、田んぼ
歴史	神社・仏閣、鯖街道、祭り	神社・仏閣
食	御食国、へしこ、ささづけ等の食文化	海の幸の食文化、和菓子

『小浜市新まちづくり構想』のアップデート について



3. 新まちづくり構想アップデートの概要

◆『小浜市新まちづくり構想』アップデートの方針

- これまでの策定委員会での意見、市民ニーズ調査（ワークショップ、若者アンケート）の結果を踏まえて、『小浜市新まちづくり構想』のアップデートを検討しました。



【アップデートの方針】

- 各種調査によって、現行計画で掲げている目指す姿「スマート&スローシティ」が、小浜の誇りとして市民にも認識されていることを再確認。
- 現行計画の方向性を大きく見直すことはなく、キーワードとして、より強調すべき事項、追記すべき事項を整理し、計画に反映することでアップデートを図る。
- その他、現況データの時点更新などの軽微な更新。



第3回（本日）の委員会では、主なアップデートの箇所について説明します。
今後引き続きアップデート作業を進め、最終版は、基本計画と合わせた時期の策定・公表を予定しています。

3. 新まちづくり構想アップデートの概要

◆『小浜市新まちづくり構想』のアップデート箇所

【アップデートした箇所の一覧表】

詳細は参考資料1を参照

ページ	アップデートの内容
2～5	北陸新幹線の整備状況の進捗に合わせて、最新の情報に 時点更新
6～28	観光入込客数やテレワーク導入率など、各種のグラフ等を統計データから最新のものに 時点更新
31～34	今回実施した市民ワークショップや若者アンケートの結果を市民の声として ページを追加
35	新幹線整備に関連する市内団体の活動紹介の ページを追加
42～45	基本的方向の文章に、市民意向調査等から得られた キーワードを追記

3. 新まちづくり構想アップデートの概要

◆『小浜市新まちづくり構想』のアップデート箇所

参照箇所
参考資料1の p.31～34

- 第1回市民ワークショップ（市全体をテーマにした意見交換）の意見や、若者アンケートの結果を、計画書にも掲載。

<第1回市民ワークショップにおいて得られた小浜市の将来の姿> ※前回委員会で紹介した内容

- 新幹線が来ることで小浜市にしながら都会のサービス（教育・医療・娯楽等）が共有され**市民の生活の選択肢が広がる**
- 小浜市として**残したい資源がスローライフの提供**につながり、住みやすいまちが持続している
- 小浜市の**強みを活かした観光を提供**することで来訪者に選ばれ、**市民・来訪者ともに魅力を感じる新駅**となっている



3. 新まちづくり構想アップデートの概要

◆『小浜市新まちづくり構想』のアップデート箇所

参照箇所
参考資料1の p.35

【活動団体紹介の追加】

- 北陸新幹線開業を見据え、市民や団体が、それぞれの立場からまちづくりに取り組み、市内の機運が高まっていることを強調するために追加。

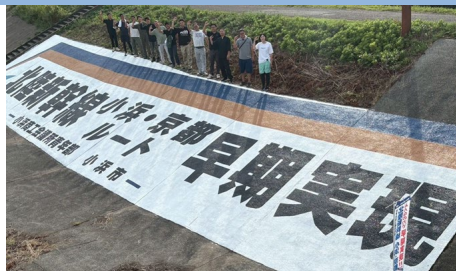
北陸新幹線 小浜・京都ルート早期着工
若狭の未来を実現する会



北陸新幹線小浜・京都ルート
未来若手プロジェクト



小浜商工会議所青年部
(小浜YEG)



若狭青年会議所(JC)



3 . 新まちづくり構想アップデートの概要

◆『小浜市新まちづくり構想』のアップデート箇所

参照箇所
参考資料1の p.42～45

【基本的方向の将来イメージにキーワードの追加】

- 委員会や市民意向調査で得られた意見で、現行計画で一部不足していたキーワードや内容を、「基本的方向性」の文章に追記。

イメージの対象	アップデートの内容
基本的方向 1 小浜在住者	小浜に住みながら、日常的に大都市へ行き来するライフスタイルについて、「子育て」「福祉」「進学」「就職」に関するキーワードや生活イメージを文章に追加。
基本的方向 2 関西からの移住者	小浜への移住者に対する支援施策の強化を目指す内容を、文章に追加
基本的方向 3 開業後の観光客	観光客に対する新駅周辺エリアのイメージを具体的に追加。印象的な駅舎、外国人対応の強化、モビリティの充実、気軽な立ち寄りの促進、などの目指す姿を文章で追加。
基本的方向 3 開業後の産業・教育	企業の誘致など、交通利便性を活かした新たな産業振興や、モノの交流、それに伴うビジネス目的の人の来訪や交流促進について、文章で追加。

▼キーワード追加の例（基本的方向 1）

基本的方向1

生活の質の向上
「小浜暮らしの可能性の拡大」

<取組目標>

新幹線による生活の幅の広がりを活かし、安心できる環境と
夢・希望・誇りを育むよりよい暮らしの実現を目指します。

<イメージ（例：小浜在住者）>

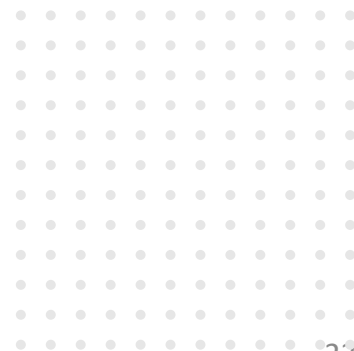
- ・住み慣れた小浜から19分で京都へ。
- ・自動運転の新モビリティで、家から新幹線駅に向かう。
- ・駅は送迎・駐車施設が充実していて自家用車でも新幹線が使いやすいし、駅中に保育園も整備されているので、子育て中の妻も新幹線通勤で働き続けている。駅近くは先端技術が取り入れられたスマートエリアで、便利でワクワクする場所である。
- ・新幹線を利用して京都に通院。都会への通院・都会から小浜への往診・遠隔医療の普及等により、専門の治療も受けられ、医療面の不安が解消し、安心して暮らせている。また、豊かな小浜の自然を感じることができる福祉施設が駅周辺にできたことで都会の方が終の棲家として小浜市に移住してきている。
- ・展示会や習い事のため京都へ出かけることも可能となった。関西から小浜が近くなり、小浜でも様々なイベントが開催されている。小浜ならではの地域文化を肌で感じながら、北陸新幹線全線開業してからは、都会にしかなかった文化にも触られるようになった。
- ・子どもたちも普段は自然豊かな環境で過ごしながら、都会に簡単に行けることから、子どもの個性を伸ばし、可能性を引き出す多様な学びと挑戦できる環境が整った。進学や卒業後の就職も小浜に住みながら通うという選択肢も広がった。



<取り組み例>

図出典：(上)国土交通省九州運輸局ホームページ「Fリー2025-26のまちづくりの発展について」
(中)IoT新時代の未来づくり検討委員会「未来をつかむTECH戦略」

『小浜市新幹線駅周辺エリア基本計画』 の検討について



4. 基本計画の検討の方向性

◆基本計画を検討する上で、重視すべき視点（案）

小浜市新まちづくり構想

【目指す姿】

スマート&スローシティ 御食国若狭おばま
～あたらしく、こちよく、あなたらしく～

新幹線・先端技術を取り入れた
「スマートなまち」

+

豊かな地域を継承する
「スローなまち」

【基本的方向】

- ① 生活の質の向上「小浜暮らしの可能性の拡大」
- ② 移住定住の促進「新たなライフスタイルの創造」
- ③ 交流人口の拡大「世界から誘う日本海側の玄関口機能の充実」
- ④ 産業・教育の振興「次世代を拓く 人と技術の育成」

構想を踏まえて
計画を検討

小浜市新幹線駅周辺エリア基本計画

1. 計画の概要・目的

2. 対象地の現状・市民意向

3. 新駅周辺エリアのコンセプト
および基本方針

4. 整備計画

- (1) 土地利用ゾーニング
- (2) 導入機能・施設イメージ
- (3) アクセス交通・地区内動線計画
- (4) 整備スケジュール(短中長期)

基本計画で、土地利用や導入機能等を検討するための重要な視点

視点①

小浜市内の既存の市街地・地域資源と新駅周辺エリアの連携

視点②

京都との結びつきを中心に、関西圏等との近接性を活かす広域拠点形成

視点③

将来の変化に対応し、アップデートしながら進むまちづくり

これらの視点を踏まえて、今後、新駅周辺のコンセプトや必要な導入機能、土地利用ゾーニングを検討していきます。

4. 基本計画の検討の方向性

参照箇所
資料2の p.1左側

◆ 検討の流れと計画策定に向けて

今回委員会で提示する内容（本資料）

①現況把握 ・市全体の概況 ・新駅周辺エリアの現況

← 上位関連計画における新駅周辺エリアの位置づけ

← 市民意向（ワークショップ・アンケート）

まちづくり構想の改訂（アップデート）

- 基本方向1 生活の質の向上
- 基本方向2 移住定住の促進
- 基本方向3 交流人口の拡大
- 基本方向4 産業・教育の振興

③新幹線新駅周辺エリアが担うべき役割

②新駅周辺エリアのまちづくりの課題

④新幹線新駅周辺エリアの整備コンセプト

- ・将来像
- ・整備の基本方針

次回以降で提示する内容

← 新幹線駅の事例調査に基づく参考とすべき整備ポイント

← 将来利用者推計などを踏まえた必要規模の算定

- ・土地利用ゾーニング、交通アクセス
- ・導入すべき都市機能
- ・整備方針、整備イメージ
- ・段階的な進め方、整備スケジュール
- ・実現に向けた今後の検討課題

5. 基本計画の内容(案)

参照箇所
資料2の p.1右側

◆計画対象地周辺の状況

【対象区域、土地利用現況図】

【土地利用】

- 計画対象地周辺には農地が、JR路線を跨いだ南側は市街地が広がる。

【交通アクセス】

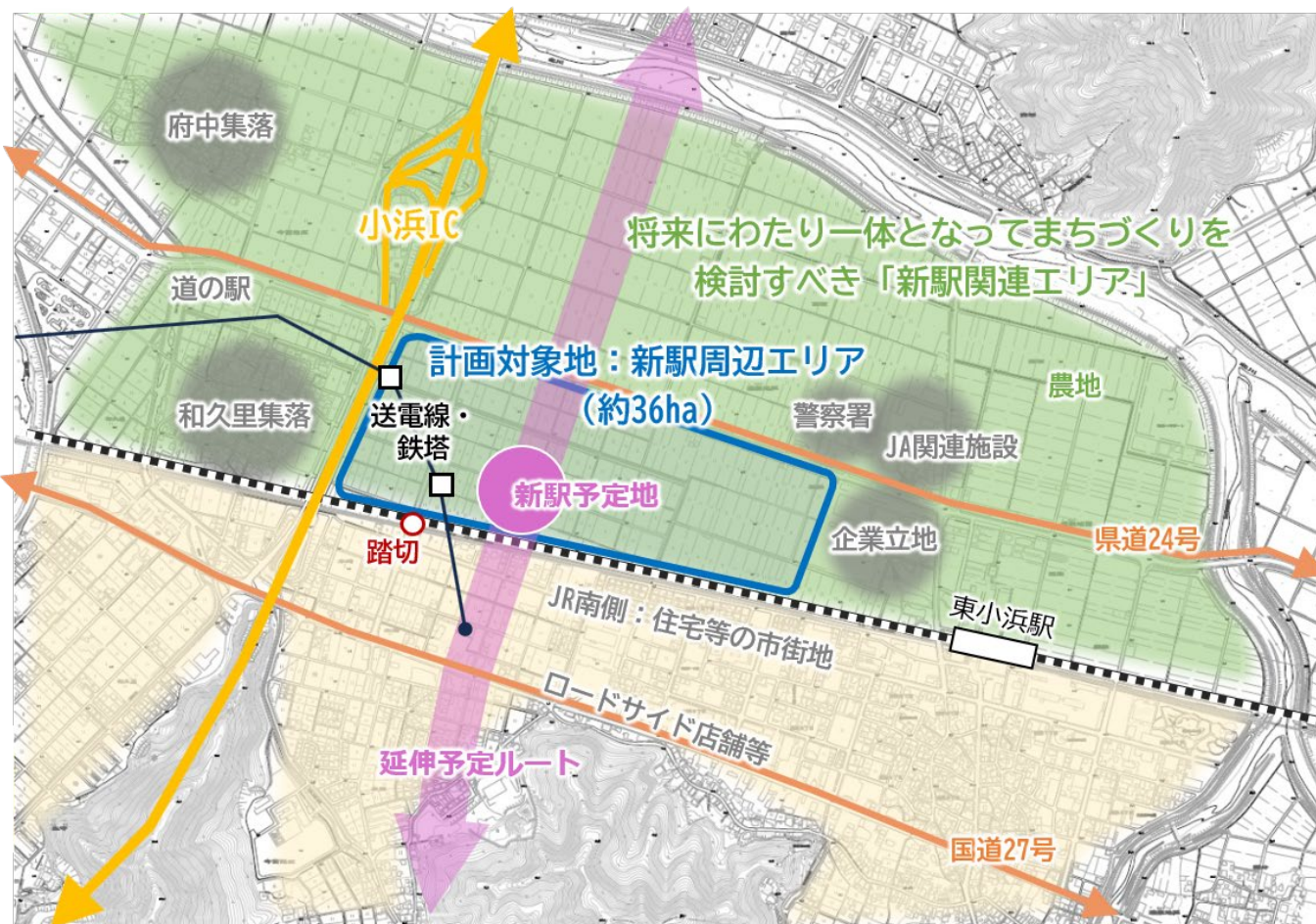
- 広域の自動車アクセス性が非常に高い。
- 中心市街地まで2km程度の距離。

【都市機能集積】

- 隣接して、道の駅若狭おばま、警察署、JA関連施設、研究施設などが立地。

【地形、支障物等】

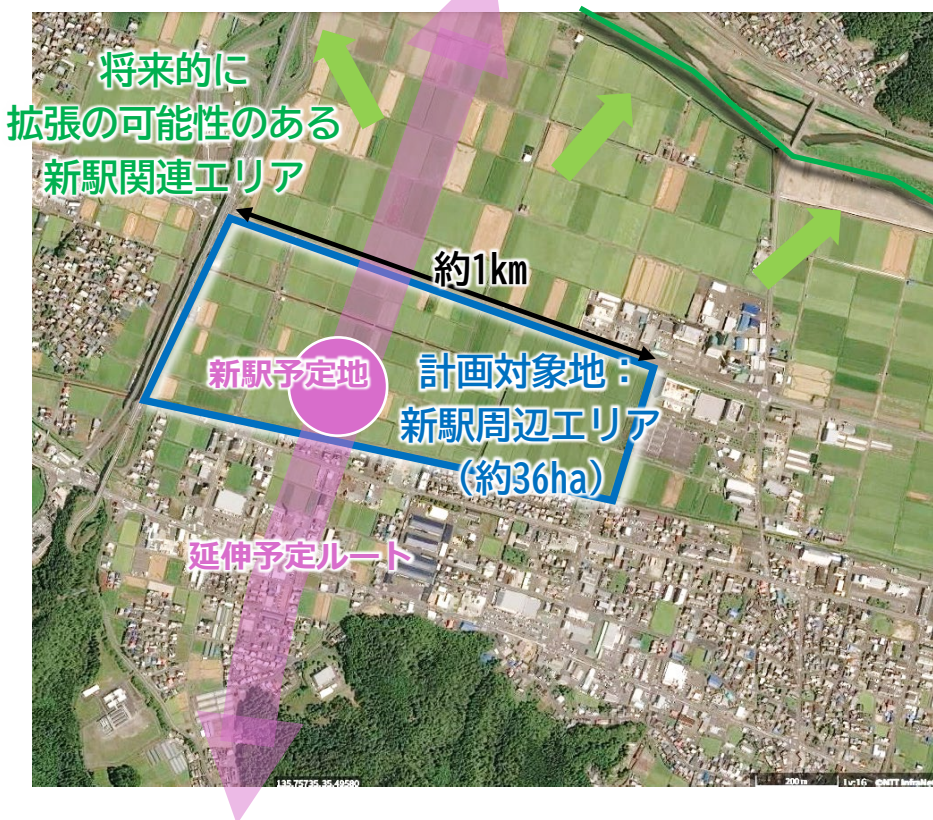
- 高低差はほとんどない、広く見通しの良いエリアである。
- 送電線鉄塔が対象地西部を横切っている。
(景観や高さに制約)



5. 基本計画の内容(案)

◆越前たけふ駅周辺と対象地の大きさの比較

小浜市新駅周辺



越前たけふ駅周辺



出典：NTTインフラネットの地図を基に情報を追記

※同じ縮尺の地図で大きさの比較

5. 基本計画の内容(案)

参照箇所
資料2の p.2左側

◆上位計画における 新幹線新駅周辺エリアの位置づけ

●第6次小浜市総合計画

新時代に向けたまちづくり

全線開業がもたらす効果を最大限に活かした新たなまちの実現、悠久の歴史と風土が活きる『新たな時代の御食国』の実現が期待される。

●都市計画マスタープラン

広域ネットワークを活かしたまちづくり

若狭地域における拠点都市として周辺都市との連携強化。

道の駅若狭おばま周辺を交通結節拠点に、小浜ICと市街地を結ぶ(都)小浜縦貫線の沿道一帯をまちなか導入軸に位置づけ。

●福井県都市計画マスタープラン

歴史・文化の若狭国・若狭路の玄関口

地理的・歴史的に京都や滋賀との交流が深く、関西圏からのアクセスもよい「御食国若狭」の起点となる玄関口である。

◆新駅周辺整備に関する市民意向 (市民ワークショップ、若者アンケートより)

- 新駅周辺エリアは、来訪者・市民の両方にとって魅力的な滞留・回遊の拠点になる機能や空間を整備することが重要。
- 新駅自体もシンボルとなり、また、ショーウィンドウのように立ち寄りを促す装置として機能すると良い。
- 新駅の直近には、来訪者を惹きつけ、気軽に小浜の魅力を味わえる施設と、交通結節拠点を。
- 市民は、新駅周辺にイベントや行事の開催など市民活動のためのに訪れ、来訪者に対しても市の暮らし・文化を魅せる、交流の場を創出。
- 本格的な小浜の魅力を味わうのは、既存の中心市街地まで呼び込む。
- その他、業務・宿泊など受け皿となる機能も導入。

5. 基本計画の内容(案)

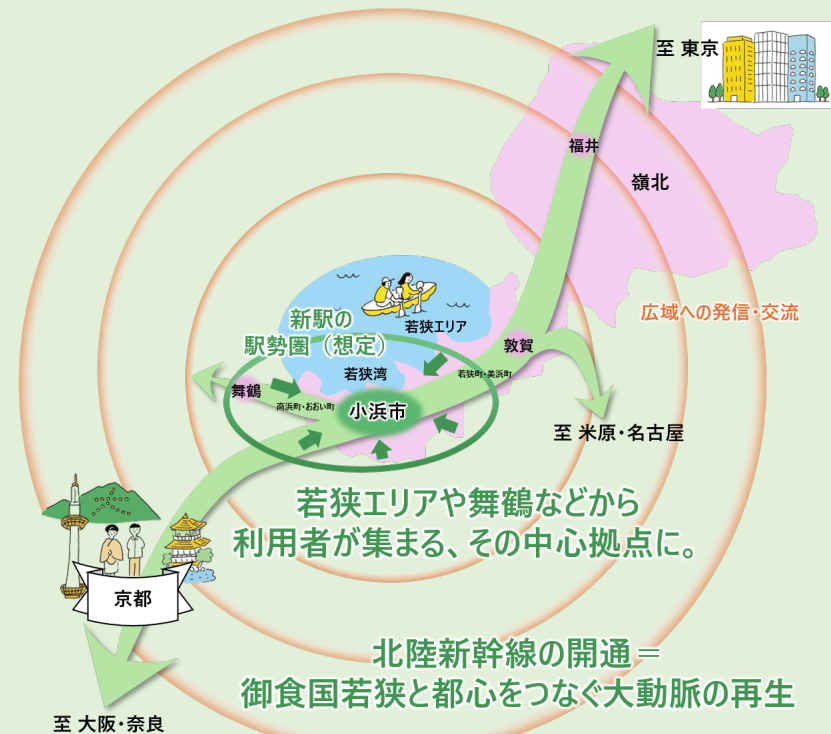
参照箇所
資料2の p.2右側

◆新幹線新駅周辺エリアが担うべき役割

人・モノ・情報の広域高速交通ネットワークの結節点（中継点）

嶺南・若狭エリアのゲートウェイ（玄関口）

広域の役割イメージ



新駅周辺の役割

【キーワード】

- ・ 御食つ国若狭の玄関口
- ・ 手軽に感じられる小浜らしさ
- ・ 市民の新たな活動の場
- ・ 来訪者の受け皿機能
- ・ 地元に根付き働く、学ぶ
- ・ チャレンジできる場 など

市内の各エリア

【キーワード】

- ・ 誇りある本物の小浜の資源
- ・ 満足度高い豊かな暮らし
- ・ 広域にも行きやすい便利な生活 など

5. 基本計画の内容(案)

参照箇所
資料2の p.2右側

◆新幹線新駅周辺エリアのまちづくりの課題

課題 ①

広域の交通結節を担うハブ拠点にふさわしい整備が必要

対象地は新幹線新駅、高速道路ICによる広域の交通結節点となるインパクトが非常に大きいエリアである。それを、小浜市および若狭地域全体にとっての大きなメリットとして活かし、モノ・人・情報のハブ拠点にふさわしい新たなまちづくりを進めていくことが求められる。

課題 ②

市民と来訪者の双方にとって魅力ある小浜らしさの創出が必要

市民の暮らしを向上させる機能と、来訪者が地域魅力を感じる機能が双方にとって魅力的で、生活の質を向上させる機能の充実や、小浜らしさを存分に感じるまちづくりを進めていくことが求められる。

課題 ③

中心市街地と一体的に考え、市全体で相乗効果の発揮が必要

小浜市の既存中心市街地と別で考えるのではなく、お互いに補完し合い、相乗効果を高めていけるように、中心市街地のまちづくりと連動し、機能連携や役割分担を明確にしたまちづくりを進めていくことが求められる。

課題 ④

長期を見据えて段階的に更新しながら、実現性を高める方策の検討が必要

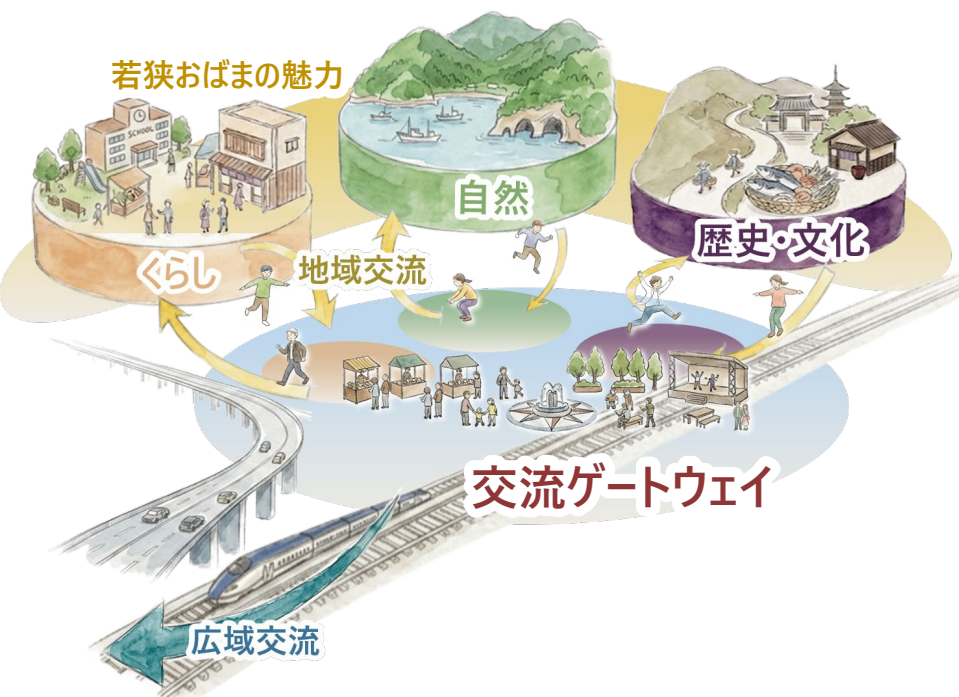
北陸新幹線開通までには長期にわたり、また開通後も段階的に開発エリアが広がることが想定されるなど、広大な周辺エリアを計画的かつ段階的にアップデートしていくことが求められる。また、事業の実現性を高めるためには、民間事業者や様々な主体との連携が不可欠である。

5. 基本計画の内容(案)

参照箇所
資料2の p.3左側

◆整備コンセプト（案）＜新駅周辺の将来像＞

(仮) 古(いにしえ)から新時代への架け橋となる若狭おばま 交流ゲートウェイ



北陸新幹線の整備により、古くから人・物・文化の交流を支えてきた若狭おばまが、都市圏を結んできたかつての交流の結節点として再構築され、役割がますます高まることが期待されます。

特に本計画の対象である新駅周辺は、重要な結節点として国内外から人・モノ・情報が集まるだけでなく、市民の活動の場ともなり、来訪者との交流が生まれることで、小浜の暮らしや文化の魅力を身近に感じられ、発進する玄関口となることが求められます。

こうした背景を踏まえ、古くから受け継がれてきた文化や暮らしを未来へつなぎながら、新たな価値を創出し続け、新時代の「交流ゲートウェイ」の実現を目指します。

5. 基本計画の内容(案)

参照箇所
資料2の p.3右側

◆整備コンセプト（案）＜新駅周辺整備の基本方針＞

基本方針1 広域交通の拠点性を活かした高次都市機能強化の推進

- 1-1 新幹線、高速道路の広域交通の拠点性を活かし、広域交流のニーズを受け止める高次都市機能（宿泊・業務・情報発信等）の整備
- 1-2 国土幹線軸のリダンダンシーに資する大都市のバックアップ機能や、地域で働く・チャレンジできる場の強化

基本方針2 小浜の誇る資源を活かした地域交流の場づくりの推進

- 2-1 小浜の誇る自然、歴史・文化、くらしの魅力に来訪者が触れ、体感できる場の創出
- 2-2 市民の日常の新たな活動の場となり、市民の日常利用と来訪者の交流が生まれる滞留・交流空間の形成
- 2-3 小浜らしい景観やデザインに配慮した駅施設や駅周辺エリアの整備

5. 基本計画の内容(案)

参照箇所
資料2の p.3右側

◆整備コンセプト（案）＜新駅周辺整備の基本方針＞

基本方針3 既存中心市街地と相乗効果を発揮する都市軸形成の推進

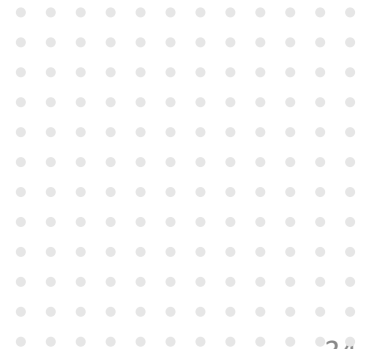
- 3-1 新駅と市内各地を結ぶ2次交通など公共交通・道路ネットワークの強化により円滑な乗継と回遊性を確保し、東西都市軸の形成
- 3-2 既存中心市街地と合わせて、市内の都市機能の再配置と連動したまちづくり

基本方針4 計画的で実現性の高いまちづくりの推進

- 4-1 社会動向や需要の変化を踏まえて段階的な整備と柔軟な土地利用転換を図り、長期にわたり計画的にアップデートしていくまちづくり
- 4-2 モビリティやデジタルの将来の技術革新を柔軟に取り入れるまちづくり

 上記の基本方針に基づき、
次回以降、具体的な整備方針・土地利用ゾーニング・導入機能などの
案を示していきます。

今後のスケジュール



7. 今後のスケジュール

2025(R7)		2026(R8)												2027(R9)		
11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
★ 第1回委員会	● 市民ワークショップ①			★ 第2回委員会	● 先進地視察	● 庁内調査・若者アンケート	● 市民ワークショップ②	★ 第3回委員会	★ 第4回委員会		★ 第5回委員会	★ 第6回委員会		★ 第7回委員会	● 庁議	● 議会・報告
【第1回議題】 ✓ 委員囑託 ✓ 今後の進め方		【第2回議題】 ✓ 第1回市民WS結果報告 ✓ 新まち構想見直し方針 ✓ 基本計画の検討方向性		【第3回議題】 ✓ 第2回市民WS結果報告 ✓ 新まち構想改訂素案検討 ✓ 整備コンセプト			【第4回議題】 ✓ 将来人口・交通 需要予測 ✓ 整備計画骨子案		【第5回議題】 ✓ 整備計画素案		【第6回議題】 ✓ 新まち構想改訂案 ✓ 基本計画素案		【第7回議題】 ✓ パブコメ反映 ✓ 基本計画最終案 の確認			